

岐阜県可児市と共同開発 マルモビ Lite

平時は公用車、有事には被災者のための安心シェルターとして災害支援可能



公用車として
平時活用

軽自動車で
運転も楽々

トイレ・
就寝スペース
として

後付けOK

お持ちの
「SUZUKI/エブリイ」を
架装いたします

Lite MARU MOBI



MARUMOBIの詳細は
こちらから

誰もが“ほっ”とできる「くるまシェルター」

岐阜県可児市の保健師や災害派遣職員など、実際に被災地支援に行かれ、現場で活動される方々の声を反映して誕生した「マルモビLite」。

平時は自治体職員の移動や備品の運搬など、業務に役立つ公用車として活用。有事の際には、被災者の方が安心して過ごせる「シェルター」として提供をし、職員向けには「休憩場所」や「デスクワークスペース」として支援を行います。



岐阜県可児市と連携



現場ヒアリングからスタート



市職員と共同設計

MARU MOBI 日常ももしもの時も。
1台で暮らしを支える多目的車両

株式会社トイファクトリー 〒509-0213 岐阜県可児市瀬田800-1
TEL : 0574-63-0667 FAX : 0574-62-0144 <https://toy-factory.jp/marumobi>

社会を支える、もうひとつのトイファクトリー